

令和7年度 第1回 徳島県立池田高等学校

学校運営協議会 議事録

1. 開催概要

- **日時:** 令和8年7月15日（火） 14:00～15:30
- **場所:** 徳島県立池田高等学校 桜陵会館
- **出席者:**
 - **委員:** 伊丹賢治（会長）、原史麿（校長）、岡本博一、石川浩、真鍋和三郎、田中剛、中川勝弘、前田秀和、井上琢斗、村上敬一、長瀬大（敬称略）
 - **事務局・校内関係者:** 福田教頭、吉田教頭、西條教頭（定時制）、志摩副校長（辻校）、西條教頭（三好校）

2. 会次第

1. 開会
 2. 校長挨拶
 3. 出席者紹介
 4. 学校運営協議会について
 5. 会長及び副会長の選出
 6. 全体協議
 - ① 池田高校の教育活動の概要及び学校経営方針について
 - ② 意見交換等（質疑応答含む）
各校の魅力化・特色化向上について
 7. その他・閉会
-

1. 開会挨拶及び会議の趣旨説明（伊丹会長）

伊丹会長より、池田高校への愛着と地域との連携の重要性が強調された。原校長の下で探究活動を中心とした日本一の学校にしたいという抱負が述べられ、未来を支える人材育成のために委員の協力を求める旨の挨拶があった。

2. 学校経営方針の説明（原校長）

原校長より、「愛と感謝」を柱とした経営方針が示された。

- **ビジョン：**「愛する・感謝する・笑顔を出す」から「愛される・感謝される・笑顔をもらえる」という高い目標を掲げ、生徒に自信を持たせる「池田スタンダード」と「ミラクル池田」の方針を説明。
- **5つの柱：**①スクールミッションに沿った特色創出、②個々の可能性を大切にする教育、③地域に学び愛される学校、④安全安心な学校生活、⑤自信に満ちた個人の育成。
- **成果：**台湾との国際交流や探究活動の成果についても言及。

3. 学校概要および各校の特色化・魅力化の取り組み（各校教頭）

各校教頭から、各校（本校、定時制、辻校、三好校）の取り組みが報告。

- **本校：**学習・部活動・探究活動を三本柱とし、観光甲子園でのグランプリ受賞やインターハイ等の実績を報告。
- **定時制：**少人数教育、ICT活用、地域見守り隊等の地域連携活動。
- **辻校：**地域をフィールドとした探究活動（自然や生き物についての学び）。
- **三好校：**職業教育（情報・生活デザイン・医療福祉）を中心とした特色ある教育。

4. 委員による意見交換

各委員より、今後の課題と期待について多様な意見が出された。

- **情報発信：** DX を活用した発信の重要性や、学校の情報を地域に広める「アンテナ」としての役割。
- **地域連携：** 地域との相互関係やバランスの取り方、インターンシップの充実。
- **経営課題：** 探究活動の財政的課題（補助金の可能性）や、生徒数減少（三好市の出生数低下）に伴う学校存続の危機感。

5. 総括（原校長）

原校長から、教育のゴールは進学実績だけでなく「生徒が将来自分で仕事を見つける力を身につけること」であると強調された。また、「魅力化」という言葉が学校間の分断を招く可能性に留意しつつ、情報発信と委員の協力に感謝の意が述べられた。

【アクションアイテム・次のステップ】

- **国際交流：** 台湾との交流（生徒の受け入れ、ホームステイ）の継続・発展。
- **ICT・探究：** DX 推進事業の指定を受けた ICT 活用、探究活動の継続。
- **情報発信の強化：** 辻校での生徒主体による情報発信システムの構築。

【課題】

- 探究活動の継続的な資金確保の難しさ。
- 学校の取り組みが十分に地域に伝わっていない PR 不足。
- 少子化に伴う生徒確保と、地域からの多様な要望への対応バランス。